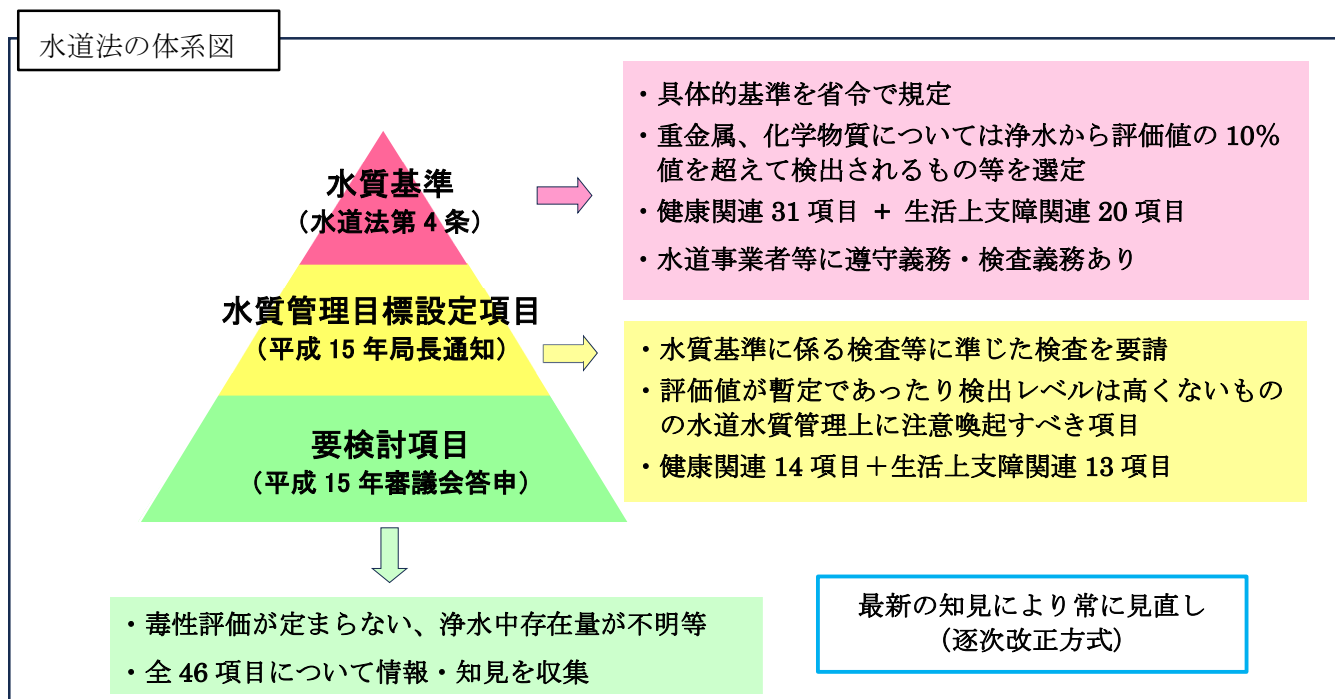


水道水中の有機フッ素化合物 (PFAS) の法規制改正



日本の水道水の水質規制は、水道法第 4 条に基づき、51 項目が水質基準値とともに定められています。水質管理目標設定項目は、水質基準を補完する位置づけのもので、水道水中での検出の可能性があるなど、水質管理上留意すべき項目として定められたものです。また、要検討項目は毒性評価が十分に定まっていないことや、浄水中の存在量が不明等の理由から水質基準項目、水質管理目標設定項目に分類できない項目となっています。

PFOS 及び PFOA 水質基準へ

水質管理目標設定項目として位置づけられていた PFOS および PFOA について、2025 年 6 月 30 日に関係省令が公布され、2026 年 4 月 1 日から水質基準項目として新たに追加されます。基準値は「PFOS および PFOA の合算値として 0.00005 mg/L (50 ng/L) 以下」とされ、水道水質基準項目数は従来の 51 項目から 52 項目となります。

要検討項目に 7 物質が追加

2025 年 6 月 30 日に要検討項目に PFBS、PFBA、PFPeA、PFHxA、PFHpA、PFNA、GenX が追加されました。2021 年に設定された PFHxS と合わせて要検討 PFAS という名称となります。目標値については、要検討 PFAS には設定されていません。

詳しくは、当社 分析担当者 (フリーダイヤル 0120-01-2590) までお気軽にお問い合わせ下さい。